

受付番号

組織名

検査実施日

年

月

日

No.

氏名

1

曲線類型判定

検査結果は作業量、作業曲線、誤答などにより 24 の曲線類型符号に分類されます。高度定型群～重度非定型群の 5 群別は 24 類型に重みづけし総合判定をしたものです。

ものごとの処理能力や速度などの傾向	性格や行動面でのバランスやかたよりの程度
2 不足はない	4 かたよった特徴があり、時に不適切な行動になりやすい



右にいくほど性格や行動に個性（独自性）が強くあらわれやすく、バランスの乱れもやすくなります。

2

特異傾向

性格や行動面での強いかたよりの不適切な行動につながりやすい傾向または状態を示します。ただし、特異傾向の指摘があっても総合判定が定型群の場合は、極めて軽度なのであまり問題にならないでしょう。△印は、当該特異傾向が軽度であることを意味します。

あり

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 気持ちや動作の一時的な停滞 | 6 気力の衰弱 |
| 2 気持ちや動作の一時的なたかぶり | 7 抑制作用の減退 |
| 3 情意の不安定 | 8 固執（こだわり）傾向 |
| 4 感動性の不足 | 9 反発・不熱心 |
| 5 発動（とりかかり）の障害 | 10 あせり・りきみ |

なし

3

性格や行動面の特性

基本的性格・行動パターンが3つの特性とその過不足の組み合わせで示されます。強いかたよりの変調状態があると基本的パターンが不明瞭になり不特定の欄に○印がつくことがあります。

	不足 判定コード 4	中程度 判定コード 5	過度 判定コード 6	不特定 判定コード 9
発動性	とりかかりがおそい すべりだしてつまづきやすい 気乗りしにくい 内にこもりやすい	ちょうどよい 過度、不足どちらにもかたよらない	とりかかりがはやい すべりだしの調子がよすぎる 気乗りしやすい 即応的ですがすぐ行動してしまう	過度、中程度、不足いずれも定めがたい
可変性	変化が少ない ゆれや波が小さい 起伏に乏しい	ちょうどよい 過度、不足どちらにもかたよらない	変化が大きい ゆれや波が大きい 起伏が目立つ	過度、中程度、不足いずれも定めがたい
亢進性	勢いが不足しやすい 気弱になりやすい 無理をしない	ちょうどよい 過度、不足どちらにもかたよらない	勢いづきやすい たかぶりやすい ムキになりやすい	過度、中程度、不足いずれも定めがたい

総合コメント（1～3の特徴をまとめた人物像）

個別診断的判定（曲線類型判定のみ）は、1の赤線部分のみ判定結果が記載されます。

この判定票についての疑問点やご意見などがありましたら、ご遠慮なくお問合せください。

判定日：2019/06/12
判定者：蔵之内

